

# まちのわだい



## やっと伯耆町に来ることができました

〜溝口中ALIT

〜コロナ対策で半年遅れの来日〜

新型コロナウイルス感染拡大による入国制限の影響で、2021年1月初旬に来町予定だった溝口中学校のALIT〔外国語指導助手〕ジャレット・ヘットランド先生（アメリカ出身）が、7月下旬に来町しました。

ヘットランド先生は、出国前から来町まで複数回のPCR検査を受け、来日後は2週間の隔離期間を経て来町。また来町後も、数日間は自宅待機をして抗原検査を受検するなど、事前の感染対策を徹底しました。初授業は夏休み明けの予定です。

ヘットランド先生は「ポケモンが好きで日本語に興味を持ち、大学で勉強を始め、もっとうまく話したり書いたりできるようにしたいと思いました。そして、大学生のときに日本へ留学し、日本の人や文化に触れて、日本がより一層魅力的なところだと感じ、再び日本に行きたいと思いました。子どもたちや地域のみなさんが英語を話せるようになったり、外国語に興味を持ってくださったりするのいいなと思っています」と話しました。（P.14「ALIT通信」も合わせてご覧ください。）



有線テレビのスタジオ見学をするヘットランド先生

## 社会教育の

### 充実を目指して尽力

〜木村修司さんに社会教育委員表彰〜

社会教育委員の木村修司さんが7月、長きにわたり地域における社会教育の振興に尽力されたとして、鳥取県社会教育委員連絡協議会会長から「社会教育委員表彰」を受けました。

社会教育委員

は、自分のまちの社会教育の実情を知り、地域住民と行政との間に立って、住民の声を行政に反映させる役割を担っています。一人ひとりが独立した立場で、研究調査したり、教育委員会で意見を述べたりすることができず。

木村さんは平成23年から社会教育委員を務め、会の代表として委員を主導しながら積極的に活躍するなど、伯耆町の社会教育振興に大きく貢献されました。

表彰が行われる社会教育委員連絡協議会総会がコロナ対策で中止となったため、伯耆町教育委員会事務局で伝達表彰を行いました。



社会教育委員表彰を受けた木村修司さん(写真右)

## 畑一面 夏の彩り

〜ヒマワリが開花〜

町内各所の農地で8月上旬、ヒマワリが見ごろを迎えました。

遠藤のヒマワリ畑では、8月9日（月・祝）に通過した台風9号の激しい風雨で大半の茎が大きく斜めに傾いてしまったものの、色鮮やかな花が畑一面に咲きました。

伯耆町は、菜の花やレンゲ、ヒマワリの種を無料で配布し、農地の地力維持・増進と景観保全を支援する「景観形成作物栽培推進事業」を実施しています。今年度は、全町合計約15ヘクタールの畑でヒマワリが作付けされました。

例年は8月中旬まで花を觀賞できますが、今年度は台風の影響もあり、1週間程度早く刈り取るのことで



畑一面に咲くヒマワリ（伯耆町遠藤、8月11日撮影）